



白石市や多賀城市、蔵王町などから集まったメンバー。後列右が鍵茂さん

ソフトテニス 実力派ぞろい 上位狙う

今大会では、60代男子ダブルスに渡辺峰雄さん(60)と高橋晃さん(61)ペア、60代女子ダブルスに佐藤美根子さん(60)と田中弘子さん(60)ペア、70代男女ミックスに鍵茂さん(72)と妻の紀代子さん(71)ペアが出場する。今回のメンバーは、テニスの全国大会・東北大会で優勝経験のある実力派ぞろい。チームを率いる鍵さんは「みんな基礎が整い、ゲーム経験も豊富。ブロック優勝でトーナメントを勝ち進み、ベスト8を狙いたい」と意気込む。

メンバーの居住地はばね」と笑った。



スピードの速いボールに瞬時に反応しボレー

ねんりんピック長崎2016 目指せ 宮城県代表選手に インタビュー



バレーボールを通じて知り合った地域の仲間で結成した「球愛会」から監督、選手8人がエントリー

睦が第一。練習でも試合でもけがをしないように気を付けたい」と監督を務める沼倉祐之(ゆうし)さん(62)。代表選手の吉

岡芳郎さん(61)も「できれば(エントリーした全員で試合に出て、楽しんできたい)」と笑顔で話していた。



週3回の練習会には加美町の他、仙台や石巻など県内各地から60代～90代の愛好家たちが集まる

出場する6選手の最年長は、8月2日に95歳の誕生日を迎えた佐々木武さん。競技歴30年以上のベテランだ。ゲートボー

鈴木さんは「大会は交流が一番の目的。でも、目標は大きく優勝です」と笑顔で話していた。

説明する。会のモットーは「仲間のミスを責めないこと」。長崎大会で監督兼代表選手を務める鈴木正勝さん(74)は「和」を大切に、失敗しても怒ったり騒いだりしないで皆、穏やかにプレーしています」と

語る。いい運動になります」と



良いプレーには拍手や声援を送り合い、和やかな雰囲気競技している

ゲートボール 「和」を心掛け 穏やかにプレー

加美町中新田ゲートボール協会は週3回の練習の他、大崎市岩出山地区や山形県最上町などに月5回以上遠征。各地の大会にも積極的に参加し、腕を磨いている。